

平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	笠松町	学校名	笠松町立笠松小学校			
校長名	近藤 栄美子	対象学年	1～6年	人数	262	
活動名	かさまつをすきになろう	時間数	6時間(総合70時間)	継続年数	3年(9年)	
題材	①自然環境(山野・河川・動物・植物・その他) [木曾川Eポート体験, うさぎ・かも, 小菊, 葉ボタン等] ②歴史(出来事・史跡・先人・その他) [陣屋跡, 鮎鮎街道, 川湊] ③文化(芸能・芸術・民話・風習・その他) [箏, お奴, オカリナ, 陶芸, 竹細工等] ④地場産業(農業・水産業・伝統工芸・その他) [ ] ⑤絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [たてわり遠足] ⑥その他(地域の方から学ぶ活動) [地域ボランティアの方を交えた掃除, 学びフェスタ]					
複数年継続するための工夫改善	・総合的な学習の時間・生活科を通して、1～6年まで系統的にふるさとにかかわる活動を位置付けている。 ・6年生が総合的な学習の時間で調べた「ふるさと」の史跡やできごとについて、たてわりグループの下学年に説明しながら校区を巡る活動を位置付けた。 ・「笠松っ子を育てる会」の4つのサポート部会を中心に、「子どもたちが地域の方と知り合いとなり、町でお会いしたときに笑顔で挨拶を交わしたり、ふるさとを誇りに思ったりできるようにしたい」と考え、様々な活動を企画している。					
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住んでいる笠松を誇りに思い、郷土を愛する心情を育てる。</li> <li>・地域に住む、様々な知識や技能をもっている素敵な講師の方の姿にあこがれをもつことができる。</li> <li>・講師をしてくださった地域の方と知り合いになり、町で出会ったときに笑顔であいさつを交わしたり、声をかけあったりすることができるようにする。</li> </ul> <p>2 活動の概要</p> <p>【「命」や「かわり」でつなぐ総合的な学習の時間】:資料1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生は一人一匹ずつカブトムシを育てることを通して、生き物を大切にすることを育んでいる。また、学校にある樹木を調べ、学校に愛着をもてるようにしている。4年生ではうさぎ・カモ等の飼育活動を行うと同時に、自分の育ってきたこれまでの歩みを振り返る。その中で、保育所の幼児と関わることで「自分がどのように大きくなってきたか」を知り、「二分の一人成人式」で将来の夢について保護者の前で語っている。5年生は、社会福祉協会の協力を得て、車椅子、アイマスク、高齢者の疑似体験をしたり、地域の高齢者介護施設と交流を行ったりすることで、「みんなの幸せ」を考える。また保育園を訪問し、年長児と関わることで、園児が安心して入学できるようにする。6年生では、笠松の歴史について調べることを通して、地域の一人としての自覚を養っている。また、1年生でアサガオを育てた鉢を6年生まで使用し、各学年で年間を通して植物を育てる活動を行っている。</li> </ul> <p>【たてわり遠足】(3時間):資料2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区を回りながら、6年生が総合的な学習の時間「ふるさと かさまつ」で調べた史跡や出来事について説明していく。下学年は、6年生の説明を聞き、普段何気なく通り過ぎている所や気付かなかった所が、歴史的な意味のあるものであったことを知る。</li> <li>・「お弁当の日」の取組の一環として、自分で握ったおにぎりを一つ持って出かけ、たてわり班で楽しく食べる活動を取り入れている。事前の給食の時間に1、6年生のペア給食でおにぎりの握り方に取り組み、6年生が教えることで1年生の子たちもおにぎりを上手につくることができるようになってきている。また、今年度は事前に全校のたてわり班が講堂に集まり、おにぎりを食べ、6年生が作成した「かさまつの紹介パンフレット」を読み合う時間をとることで地域への関心を深めることができた。</li> </ul> <p>【つながる 笠小学びフェスタ2015】(3時間):資料3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「笠松っ子を育てる会」のふれあいサポート部会を中心に、校区に住む様々な知識や技能をもっている講師の方を紹介していただく。23講座を設け、親子で一緒に取り組むことができるものを選んでもらい、参加する講座を決める。親子で講座に参加して活動し、学んだことをまとめる。感謝の手紙を渡したり、感想を交流したりする。</li> </ul> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子:資料4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアの方に月1回のクリーンタイムや特別教室掃除に参加していただき、一緒に校庭の草引きや掃除を行っている。掃除の仕方を教えてもらうなど地域の方と触れ合いながら掃除ができるようになっていく。</li> <li>・学びフェスタのお礼を兼ね、5年生児童が総合的な学習の時間に育てた小菊を、講師の方にお渡しし、大変喜んでいただく。</li> <li>・学びフェスタの講師をしてくださった方の中には、町の施設に勤めていらっしゃる方や毎日の登下校を見守ってくださっている方がおり、以前に増して親しみをもつことができた。講師の方自身も楽しく参加でき、学校や児童に親しみをもてた。</li> <li>・「笠松町のあいさつ運動(年3回実施)」では、中学生・高校生・地域の方が小学生と一緒に校門や駅に立ち、気持ちのよいあいさつを呼び掛けている。あいさつが広がる笠松町を目指して、子どもだけでなく地域の方も一緒に積極的に取り組んでいる。今年度は小学生も通学班毎に分かれ、分担し合わせて5カ所においてあいさつ運動を行った。</li> <li>・今年度地域に開館した「歴史未来館」にリニアモーターカーが設置される時はボランティアとして参加し、PRした。</li> </ul> <p>4 活動による児童生徒の変容(伸長・成長等):資料5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たてわり遠足で、6年生から笠松の歴史を覚えてもらうことにより、自分たちの住む町が古い歴史のある町であることを知り、地域の行事(大名行列、鮎鮎街道ウォーク等)に進んで参加しようとする児童が増えてきている。</li> <li>・子どもたちの活動後の感想から「近くに住んでいる人が、こんなことができる人だなんて知らなかった。」と地域の方に触れ、地域の方とのつながりを実感していることが分かった。</li> <li>・地域の方や来校者に進んで挨拶する児童、来校者にトイレを聞かれ、案内する児童など、自ら行動できる児童、優しい気持ちで人と関わる児童の姿が広がってきた。</li> </ul>						